



# 柊野だより

令和6年 特別号  
京都市立柊野小学校  
校長 小林 宏樹

学校教育目標 『ともに学び ともに育つ』  
3つのキーワード 「あいさつ おもいやり えがお」

学校HP⇒



※positiveは、「よくできている」「できている」、negativeは、「あまりできていない」「できていない」の数値を表しています。

保護者アンケート		実現度		児童アンケート		実現度		教職員アンケート		実現度		
		positive	negative			positive	negative			positive	negative	
お子さんは、楽しく学校に行っている。	R5.第1回	94%	6%	確かな学力	がっこうはたのしい。	R5.第1回	90%	10%	主体的に学ぶ子どもを育てている。	R5.第1回	87%	13%
	R5.第2回	94%	6%			R5.第2回	89%	11%		R5.第2回	95%	5%
	R5.第1回	85%	15%		じゅぎょうでは、めあてにむかってとりくんている。	R5.第1回	90%	10%	めあてとふり返りを大切にし、「わかった・できる」を実感できる授業をしている。	R5.第1回	81%	19%
	R5.第2回	87%	13%			R5.第2回	93%	7%		R5.第2回	95%	5%
	R5.第1回	84%	16%		せんせいやともだちはなしを、しっかりきいている。	R5.第1回	97%	3%	学習規律を守って、学習にむかえるよう繰り返し指導している。	R5.第1回	100%	0%
	R5.第2回	84%	16%			R5.第2回	97%	3%		R5.第2回	100%	0%
	R5.第1回	76%	24%		じぶんのかんがえをはなしたり、かいたりしてまわりのひとにつたえている。	R5.第1回	79%	21%	学校生活の中で、子どもたちが自分の考えを書いたり、全体やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	R5.第1回	90%	10%
	R5.第2回	76%	24%			R5.第2回	81%	19%		R5.第2回	90%	10%
	R5.第1回	50%	50%		ほんをよくよんでいる。	R5.第1回	71%	29%	子どもが本に親しむ環境づくりや声かけを工夫している。	R5.第1回	77%	23%
	R5.第2回	55%	45%			R5.第2回	70%	30%		R5.第2回	80%	20%
お子さんは、自分から進んで宿題や自主学習に取り組んでいる。	R5.第1回	72%	28%		じぶんからすすんで、しょくだいやじゅがくしゅうにとりくんでいる。	R5.第1回	82%	18%	家庭で主体的に学習できるよう、宿題や自主学習の取組を工夫している。	R5.第1回	84%	16%
	R5.第2回	73%	27%			R5.第2回	84%	16%		R5.第2回	95%	5%
	R5.第1回	84%	16%		GIGAたんまつをつかったがくしゅうにすすんでとりくんでいる。	R5.第1回	91%	9%	「京都DXビジョン」を意識し、GIGA端末を活用した学習に進んで取り組んでいる。	R5.第1回	75%	25%
	R5.第2回	80%	20%			R5.第2回	91%	9%		R5.第2回	75%	25%
	R5.第1回	77%	23%		じぶんからすすんで、あいさつをしている。	R5.第1回	89%	11%	子どもにあいさつすることの大切さを伝え、自らの姿でも示すことを通して、繰り返し指導している。	R5.第1回	100%	0%
	R5.第2回	79%	21%			R5.第2回	91%	9%		R5.第2回	100%	0%
	R5.第1回	90%	10%		がっこうのきまりややくそくをまもっている。	R5.第1回	96%	4%	学校のきまりや約束のある意味を教え、きまりや約束を守るように繰り返し指導している。	R5.第1回	100%	0%
	R5.第2回	88%	12%			R5.第2回	95%	5%		R5.第2回	100%	0%
	R5.第1回	90%	10%		せんせいやともだちに、こまつたことなどをそだんしている。	R5.第1回	77%	23%	子どもが相談できる存在になっている。	R5.第1回	83%	17%
	R5.第2回	86%	14%			R5.第2回	75%	25%		R5.第2回	90%	10%
お子さんは、友だちの良さを見つけ、協力したり、励ましたりしようとしている。	R5.第1回	89%	11%		ともだちのよさをみつけ、きょうりよくしたり、はげましたりしている。	R5.第1回	89%	11%	人権尊重の精神を基盤に、お互いを認め合い、励まし合う集団づくりを意識して、指導している。	R5.第1回	90%	10%
	R5.第2回	88%	12%			R5.第2回	91%	9%		R5.第2回	95%	5%
	R5.第1回	95%	5%		こうつうルールをまもって、あそんだり、とうげこうしたりしている。	R5.第1回	97%	3%	放課後の遊び方や、交通安全について指導している。	R5.第1回	95%	5%
	R5.第2回	96%	4%			R5.第2回	97%	3%		R5.第2回	100%	0%
	R5.第1回	84%	16%		はやね・はやおき・あさごはんをこころがけ、けんこうにきをつけている。	R5.第1回	85%	15%	子どもの健康に気を付け、早寝・早起き・朝ご飯など習慣づくように指導している。	R5.第1回	87%	13%
	R5.第2回	84%	16%			R5.第2回	85%	15%		R5.第2回	95%	5%

自由記述欄にもたくさんご意見をいただき、ありがとうございました。真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきます。

## 令和5年度第2回学校評価アンケートの結果のお知らせ

平素は、学校教育活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。1月に実施いたしました第2回学校評価アンケートの結果を報告させていただきます。

まず、第2回学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございます。今回のアンケートでは、第1回目と同じく13項目の質問をさせていただきました。その中で、『確かな学力』に関しては7項目、『豊かな心』に関しては4項目、『健やかな体』に関しては、2項目の内容で質問をさせていただきました。それらの結果をもとに、分析しています。第1回の結果と合わせて、参考にしてください。

### 「確かな学力」の育成に向けて

#### ① 主体的、対話的で深い学び・学びの集団づくり

多くの子どもたちが、学校でもご家庭でも、自分から学びに向かっているという意識を高めています。まずは、学習に向かおうという気持ちを認め、褒めながら、引き続き教育活動を進めていきたいと思います。また、今年度、道徳科の授業を軸にして、校内の授業研究を進めてきました。教材に出てくる人物のおもいを考え、周りの友達と意見交流をしながら、学習を深めています。引き続き、対話を通した学びを充実させ、子どもたちが自分事として考えられるような授業づくりを進めていきます。

#### ② 日々の授業と家庭学習との連動

授業で学んだことを家庭で復習したり、授業で学ぶことを予習したりと、学校と家庭とが連携しながら学びを深めていくことが大切だと考えます。また、今年度「チャレンジノート」として、自分のめあてや計画を立てながら自主学習を進めてきました。今年度の子どもたちの姿をふり返り、どのような形が子どもたちの成長につながるかを引き続き考え、模索していきます。ご家庭で子どもたちに日々向かい合っていただき、本当にありがとうございます。

#### ③ 読書活動

GIGA端末によるICT活用が進んでいますが、読書も大切にしながら教育活動を進めてきました。子どもたち一人一人の興味に合わせて読書する朝読書の時間から、授業中に行う情報を集めるための読書活動など、まだまだ様々な場面で本の力を大切にした取組を進めてまいります。

### 「豊かな心」の育成に向けて

#### ① あいさつ

廊下でずれ違う時に、「こんにちは。」とあいさつしてくれる子どもたちがたくさんいます。とてもうれしいです。あいさつが当たり前のようにできると、みんなが気持ちよく過ごせます。自然なあいさつがあふれる学校を目指して、子どもたちと一緒に教職員も頑張っています。

#### ② 人、もの、時間を大切にする子

行事や宿泊学習など、人との関わりを通して、友達の良さを見つけ、励ましている子どもたちの姿がたくさん見られました。また、ケガをした子に寄り添う子どもたちや、低学年の子どもたちに優しく接する高学年の子どもたちもたくさんいます。人に優しくできるところは柊野小学校の子どもたちの良い所です。一方で落とした物が教室でもたくさんあったり、GIGA端末を落としたりと、物の扱いが雑になっている場面も多く見られます。子どもたちが、「人、もの、時間」を大切にしていけるように学校でも継続して話をていきたいと思います。

#### ③ 相談にのってくれる存在

困ったときに寄り添ってくれたり、話を聞いてくれたりする存在がいることで、子どもたちは安心してチャレンジし、成長に向かうことができます。子どもたちを中心として、子どもたちのおもいを大切にしながら、安心できる雰囲気と環境を第一に考えていきたいと思います。

### 「健やかな体」の育成に向けて

#### ① 生活リズム

生活リズムが整っていると、学習や運動にも取り組むエネルギーが湧いてきます。しかし、寝る時刻が遅かったり、朝ごはんが食べられなかったりすると、前向きな気持ちも湧かなくなってしまいます。また、しっかりと睡眠時間を確保することは、成長期にある子どもたちの発育にもかかわってきます。まずは、「寝る時刻」を決めて、生活リズムを整えていくことを子どもたちと確認していきたいと思います。スマートフォンやゲーム等、ICT機器の使い方もかかわってきますので、ご家庭でも子どもたちの様子を見ていただけたらと思います。

#### ② 体力増進・健康維持

新型コロナウイルスの影響で低下傾向にあった子どもたちの体力ですが、少しずつ戻ってきている印象です。学校でも引き続き、体力向上の取組を進めています。また、インフルエンザ等の感染症も引き続き猛威を振るっています。子どもたちには、手洗い・うがいと必要に応じてマスクの着用を伝えています。